

事業所名

児童発達支援事業 こりっつぷらす

支援プログラム

作成日： 2025 年 4 月 10 日

| | | | | |
|-----------|--|--|--|--------------|
| 法人（事業所）理念 | | 法人理念：世界に挑戦する子どもたちの可能性を信じ続け、わが子のように愛情を持って伴走する 広い世界で活躍する子どもたちはやがてそれぞれのカタチで慈しむ心の大切さを伝えていく 田中学園は子どもたちの成長を通し北海道から世界にしあわせの輪をつないでいきます 事業所理念：子どもひとりひとりが安心して自分らしく豊かに生きようになる支援の場 みんな違ってみんないい＝多様性の尊重(全承認)・子どもは1mmも変えない | | |
| 支援方針 | | 1 安心・安全な世界を保証する支援の場＝安心・遊び心・強みを生かす支援 2 特徴を変えず、周囲(人・環境)の在り方を変える支援 3 人の理想を手放して今ある姿をそのまま受け止める支援 4 取り組み・活動の量よりも質を大切にする支援(違うことをしてもよし、見学もよし、その子に合わせる) 5 支援計画はギフト＝スモールステップの目標で確実な歩みに寄り添う支援 6 遊びの段階(一人遊び→並行遊び→連合遊び)を重要視しながら、遊び・ビジョントレーニング・運動を通して脳機能に働きかける支援 7 こども園における友だちとの関わり、専門教育、行事、クラス活動などの活動が辛い時間ではなく、楽しく豊かな時間(+びらす)になるような支援 | | |
| 営業時間 | | 9 時 00 分 ~ 18 時 00 分 まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支援内容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、無理のないスケジュールで一日を過ごせるよう支援する。 衣類の着脱や手洗い、うがいなど、身の回りのことを自ら行おうとする姿勢を育てる。 睡眠・排泄・食事などの基本的な生活習慣を整え、自分でできることを増やす。 | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 粗大運動・微細運動を通して、姿勢の安定やバランス感覚、身体の動かし方を身につける支援を行う。 感覚刺激を適切に取り入れ、体の位置感覚や力加減など感覚統合の発達を促す。 一人ひとりの運動発達段階に合わせて、成功体験を重ねるようサポートする。 | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 活動内容や手順がわかるような視覚的支援を行い、見通しをもって行動できるようにする。 興味や関心に合わせた活動を通して集中を高める。 できたことをしっかり認め、自己肯定感を育てる。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 絵カードや写真など視覚的支援を用いて、自分の思いや要求を相手に伝えられるよう支援する。 他児や職員とのやりとりを通して相手の言葉に耳を傾ける力を育てる。 場面に応じた言葉の使い方を学び、コミュニケーションの幅を広げる。 | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 集団活動やペア活動を通して、相手を意識しながら一緒に活動する楽しさを感じられるよう支援する。 順番を待つ、ルールを守るなどの社会的ルールを理解し守れるよう促す。 他児との関わりの中で、協調性や思いやりの気持ちを育てる。 | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ご家庭の様子や困りごとを丁寧に伺い、必要に応じて助言が助言や情報提供を行う。 保護者と連携をとりながら、家庭での支援方法や声かけの仕方を共有する。 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> 集団活動を通して、ルールを守る・順番を待つなどの社会性を身に付け、園で円滑に過ごせるよう支援。 小学校就学に向けて、生活リズムを整え、身の回りのことを自分で行えるよう支援。 | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関(こども園・学校・他事業所)との情報共有を密に行い、支援方針の一貫性を保つ。 地域行事やイベントへの参加を通して地域とのつながりを大切にする。 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性理解や支援スキル向上のため、職員間での情報共有、研修を定期的実施。 支援方針やプログラム内容の見直しを行い、子どもにとって最適な支援を提供できる体制作りを進める。 外部研修にも積極的に参加し、共通理解と支援の一貫性を高める。 | |
| 主な行事等 | 【季節ごとの制作】 ・4月～桜 ・5月～こいのぼり ・6月～梅雨 ・7月～七夕 ・8月～海 ・9月～月見 ・10月～ハロウィン ・11月～栗 ・12月～クリスマス ・1月～雪の結晶 ・2月～節分 ・3月～ひな祭り) | | | |